

平成 29 年度東日本大震災アーカイブシンポジウム －被災県が実施する震災アーカイブの意義－ 開催のお知らせ

国立国会図書館と東北大学災害科学国際研究所は、平成 30 年 1 月 11 日（木）に「東日本大震災アーカイブシンポジウム」を東北大学にて開催いたします。

東日本大震災の発生直後から、様々な団体が震災アーカイブに取り組み、現在までに数十の震災アーカイブが構築されました。特に県域のアーカイブの構築は、県内の記録の収集やアーカイブ連携を促進し、東日本大震災の記録の網羅的な集約を可能にしました。そのことにより、震災アーカイブの連携にともなう知見も得られてきました。アーカイブは「未来へ伝えるべき保存記録」を意味します。震災アーカイブは将来起こる災害に対する対策に重要な役割を果たします。

本シンポジウムでは、震災アーカイブを取り巻く国際動向として、「世界防災フォーラム」の概要を紹介するとともに、東日本大震災と熊本地震の被災県の震災アーカイブ担当者による事例報告や、「被災県が実施する震災アーカイブの意義」と題して、各県のアーカイブ構築と県内のアーカイブとの連携等について課題解決に向けた議論を行います。

○日時及び会場

日時：平成 30 年 1 月 11 日（木） 13：00～16：30（開場 12:30～）

会場：東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホール
（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）

○参加及び参加申込み

(1)定員：200 名（先着順。定員に達した時点で申込受付を終了します。）

(2)参加費：無料

(3)申込み：下記 URL のシンポジウム案内にある申込みフォームからお申込みください。

<http://shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>（みちのく震録伝）

問合せ先：

東北大学災害科学国際研究所 情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野 小野，柴山

電話番号：022(752) 2099

E-mail アドレス：archiveforum@irides.tohoku.ac.jp

○プログラム

● 震災アーカイブを取り巻く国際動向

「世界防災フォーラム&ぼうさいこくたいの報告」

ボレー・セバスチャン（東北大学災害科学国際研究所助教）

● 被災県が取り組む震災アーカイブ～復興に向けて目指すもの～

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」について」

酒井淳（岩手県復興局復興推進課推進協働担当課長）

「熊本地震への対応とデジタルアーカイブ」

林田昭広（熊本県知事公室危機管理防災課熊本地震検証室主幹）

「茨城県における東日本大震災の記録資料の収集と公開」

中原健次（茨城県生活環境部防災・危機管理局防災・危機管理課副参事）

「福島県における震災関連資料の収集について」

半谷成満（福島県文化スポーツ局生涯学習課主任社会教育主事）

● 進化する震災アーカイブ～現状と課題～

「在仙テレビ局の震災アーカイブ、その意義と活用法」

浮ヶ谷美穂（宮城テレビ放送アナウンサー）

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ（ひなぎく）の課題と取組」

伊東敦子（国立国会図書館電子情報部主任司書）

「震災アーカイブを発展させるために研究機関がすべきこと」

柴山明寛（東北大学災害科学国際研究所准教授）

● パネルディスカッション

「被災県が実施する震災アーカイブの意義」

上記報告者及び太田朋子（宮城県図書館資料奉仕部震災文庫整備チーム主査）